

第145号

発行所：石川自治センター

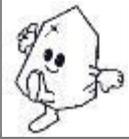
発行者：石川自治センター長 大竹富雄

〒963-7859

石川町字南町 36

TEL 26-1554 (FAX 同)

# 石川自治センター だより



## 退任挨拶 2年間を振り返って



大竹センター長

私儀、この度1期2年間の自治センター長の任務を令和3年3月31日をもって終了し、退職することになりました。在籍中は多くの方々にご指導、ご協力を賜り、この2年間務めることが出来ました。皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

1年目はセンター活動内容や各教室（籐手芸、リフォーム、手織、パソコン、粘土、人形）・レディース・スクール教室（きたす、猫啼、外楨、新田）石川寿大学、新田寿健康大学、センター運営協議会、まちづくり委員会、防犯協会、青少年育成協議会、朝市、敬老会等のセンター運営交流活動にふれ合い、様々な活動と技術のすばらしさを知りました。各教室とも自主学習、移動研修、技術向上と和気あいあいとモノづくりの楽しさを満喫していま

した。就任初めてのイベントはさくらマルシェです、就任数週間で何もわからずの開催に困惑しながら、どたばたと過ぎてしまいました。次に朝市です、5月から11月までの朝市開催、初めての体験で準備、販売、後片付けと出店者の協力無くては開催できません。そんな中、令和元年10月に台風19号の襲来により町全体が大被害を被りました。朝市出店者の中にも被害に遭い開催が危ぶまれましたが、出店者の熱い努力とお客様の期待に沿うよう台風被害当日の12日、19日土曜日の2回休みのみで、次の土曜日には開催し被災された出店者を含め全店舗全員で開催いたしました。天候に関係なくお客様を第一に考え一丸となり販売する姿に負けない力強さを感じました。最後のイベントは敬老会です。今まで松多屋さんで開催していましたが、初の石川町体育館での開催となり会場準備が大変でした。前日からテーブル、椅子、床シートなどを準備し本番に備えました。準備には、実行委員である役場職員、石川地区行政区分長、児童民生委員、

女性代表と総がかりで準備いたしました。2年目からは経験を活かしてと思っていた矢先、令和2年新年早々新型コロナウイルス感染症が発生し徐々に諸外国だけでなく日本国内にも感染が広まり、現時点では全世界に感染拡大となつてしまいました。このような状況下の中でも感染防止策を取組ながら各事業・教室の活動を行って来ましたが思うように出来ませんでした。令和3年に入り、コロナ対策の緊急事態宣言延長、医療面ではワクチンの接種の充実が望まれますが、それも全国民に接種されるまでは月日が掛かり、まだ予断が許されない状況です。今は一人一人が細心の時期、剛胆の時期であり、自らに専念し令和4年には2年・3年の我慢の生活を元に戻すように、倍返しをしましょう。最後に皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。2年間お世話になりました。ありがとうございました。

石川自治センター長  
大竹 富雄 敬具

## いしかわ桜谷スプリングフェスタ 2021

第9回まちなか工房作品展示・販売会  
 日時：4月9日（金）～11日（日）の3日間  
 午前10時～午後3時頃迄  
 場所：石川自治センター（あさひ公園内）  
 自治センター玄関左側下屋部分  
 出店：まちなか工房5教室、籐手芸、粘土、リフォーム、手織り、a.kプロ。（約500点展示・販売）  
 感染策：屋外で行います。マスクの着用、アルコール消毒の設置、検温機の設置。

石川地区まちづくり委員会（瀬谷守夫委員長代理）は、23日令和2年度第2回委員会を8名が参加して行われた。令和2年度事業報告では、まちづくり事業申請団体への交付（10団体へ）、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第4回研修会の中止、まちなか朝市が7月4日～11月28日迄縮小開催が報告された。3年度事業計画（案）では、まちづくり事業継続、地域活性化事業「まちなか朝市」の実施。事業費百五十万円の予算（案）が承認され閉会となった。

# 令和3年度石川地区まちづくり事業 交付金申請について。

石川地区、地域の住みよいため石川地区まちづくり交付金交付要綱に基づいてまちづくり事業を実施しています。

事業計画は下表の通りです。各行政区や団体等で新たに事業を実施したい等、内容等詳細について確認したい事がある場合は、石川地区まちづくり委員会事務局（石川自治センター1階26・1554）にご相談下さい。

石川地区まちづくり事業交付金手続きマニュアルにより各種手続きをおこないます。令和3年度事業交付金交付申請書提出期限は4月24日（土）となります。



交付団体大貴宮八幡山桜を守る会作業の様子。

事業名	細事業名
1. 地域コミュニティ推進事業	少子・高齢化対策事業、都市と農村の交流事業、地域温暖化防止事業、街並み等景観整備事業、防火施設整備事業
2. 地場産業の育成事業	地域逸品発掘事業、産地消費推進事業、地域資源活用事業
3. 地域伝統文化の保存継承事業	まつり・盆踊り・民族芸能等支援事業、歴史・伝統文化の保存、継承事業
4. 地域環境美化事業	道路・河川等美化事業、里山等保全活動整備事業、彩りのあるまちづくり事業

## 4レディース・2寿大学合同会議



3月9日石川自治センターで、寿大学2学級とレディース・スクール4学級の各委員長・副委員長が出席、令和3年度合同会議を行った。

午前10時から石川寿大学・新田寿健康大学の委員長・副委員長他5名が出席した。会議に先立ち、大竹センター長より、「コロナ禍ではありますが、学級生の皆さんが健康に留意し元気に活動することを期待します。」と挨拶を頂きました。会議では、令和3年度事業計画等について意見交換をしながら計画を練った。

初めに、新型コロナウイルス感染症予防を講じて学習会等を行うことを確認した。例年、開講式が、新田寿4月、5月石川寿となっていたが、高齢者へのワクチン接種が5月中旬頃ではないかとの予想から、石川寿も開講式を早目、4月20日開講式を行い、「新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について」保険福祉課より講話をお願いした。新田寿も4月15日開講式を行い、講話を聞く。両寿大学が4月開講式は初めてのことです。毎月の学習会、移動研修等は、新型コロナウイルス感染症拡大により、内容変更等が発生する場合もあることも確認した。令和4年2月の閉講式まで、多くの学級生が楽しく参加することを期待します。

各大学の新役員は、石川寿大学に委員長鈴木芳幸氏（北町）新副委員長に我妻良子氏（馬場町）が就任した。新田寿健康大学は、小豆畑幸司氏（再任）となった。レディース学級は、9



日午後6時より4学級7名が参加して、令和3年度事業計画等について、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学習会、移動研修、文化祭作品展示等の事業計画が出来なかつたことから、意見交換等を行った。令和3年度事業計画についても、各委員長とも苦慮している様子が伺えた。文化祭作品展示については、前向きに参加したい意向を示していた。レディース4学級は、5月開講式を行い自主学習で文化祭作品制作を行う予定。各委員長は、再任となった。

### 4月度行事予定 \*諸般の事情により日時等変更になる場合もあります。

日	曜	行事予定	備考
6	火	石川地区区長会 18:00~	石川自治センター
9~11	金~日	第9回まちなか工房作品展示・販売会 午前10時~午後3時頃迄	石川自治センター
15	木	新田寿健康大学開講式 9:30~	新田ふれあい
16	金	まちなか朝市出店者会議 18:30~	石川自治センター
20	火	石川寿大学開講式 9:30~	石川自治センター

### 駐車場ご利用の皆さん



桜開花中の石川自治センター前の駐車場が利用制限されますので、ご注意ください。ご理解とご協力をお願い致します。

